

森のサイクルと森のめぐみの活用 !! ③



～紙すき体験で学ぶ!～ 「森と紙のサイクル」

総合(環境・ものづくり) 社会 理科

- (1) ねらい
- ①森のめぐみである木から紙ができる工程を知り、紙すきを通して、資源のリサイクル、ものづくりの苦労・工夫・面白さを体験することにより、森を大切にする心を育む。
 - ②森の循環・森のめぐみについて学び、持続可能な発展のための森と人との共存について考える。



- (2) 対象 ・小学5年生～中学3年

- (3) 講師 エコシステムアカデミー
(三菱製紙グループ社員)

URL : <https://www.mpm.co.jp/ecosystemacademy/index.html>

- (4) 形式 所要時間 2単位時間以上

- ・クラス単位で、1回あたりの定員は最大32名(4名×8班)です。(別途、応談)
- ・理科室、図工室、家庭科室など水の使える場所で行います。(アイロン、ミキサーの電源確保必要)
- ・紙すき体験で使用する器具(原料)は講師側で用意します。原料は、児童に持って来て頂く方がより良いと考えます。
- ・HDMI接続できるプロジェクター、スクリーンを用意してください。



- (5) 内容 【講義】 1単位時間 (体験前 0.7、まとめ 0.3)

- ・スライドやサンプルを用い、森のはたらきやサイクル、木材の利用と紙との関係など、「わたしたちの生活と森林」について説明します。

- 【紙すき体験】 1単位時間以上 (1単位時間で2枚程度)

- ① インストラクターまたはサポーター(地元ボランティアの方々)が班ごとに付き、手順の説明やポイントの解説を行います。
- ② 子どもたち一人ひとりが、木材パルプ(針葉樹と広葉樹)からハガキを作り、紙ができる工程を知るとともに、ものづくりのおもしろさとたいへんさを体験します。
- ③ 作った紙の特性を確かめ、用途に合わせた原料から紙が作られることを理解します。
- ④ 作った個性豊かな紙は、ご家族や友人へメッセージを書いたり、絵手紙を書いたりして、切手を貼って送ることができます。

- (6) 費用 「無料」

三菱製紙グループのサステナビリティ推進活動として行うので費用はかかりません。子どもたちや先生からの「感想文」を送っていただきますようお願いいたします。

- (7) 申込み **出前授業申込書** 実施日2ヶ月前まで ⇒ 学校支援ネットワーク本部へ送付

講師の方には、当本部から連絡を取らせていただきます。

教材・教具など詳細の打ち合わせは、講師の方と学校の担当者で行ってください。